

ローヤルニュース

No.152

発行 ローヤル油機株式会社 2006年11月17日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

【間違いやすいグリースの耐熱度】

1. 耐熱性： 60 カップグリースやシャーシーグリースは、最も耐熱性が弱い。
2. 耐熱性： 120 リチウム系グリースは、一般的な万能グリースで耐熱性は強くない。
3. 耐熱性： 180 ウレア系グリースやアルミニウムコンプレックスグリースがある。
4. 耐熱性： 200 リチウムコンプレックスグリースやベントナイトグリースが有効である。

下館物語 12

翌日の夕方になって、キヨイチ伯父さんの次女で今年中学を卒業したばかりのエイコちゃんが、自転車で乗ってやって来た。

自転車の後ろの荷台には、厚紙で出来た大きな箱が麻縄の紐で大事そうに括り付けてあった。自転車を門の中に入れてスタンドを立て、荷台の紐をほどいて大きな箱を抱えた。

真夏の太陽は、まだ西の空の高いところにあった。エイコちゃんは額の汗も拭わずに、その箱を抱えたまま玄関に向かつて大きな声をかけた。

「こんにちは、おカアちゃん。ターボたちが来たんだってえ……」

伯母は、私たち従姉弟の全員にこう呼ばれていた。母のない私たちにとつて、伯母の存在そのものが母であり、母の愛情を最も身近に感じられる人だった。

「ターボもミッコも出ておいで、東下りのエイコちゃんが来てくれたよ」「はい」

東下がりには、荒町から三キロほど離れた繁華街の少し外にあった。

『エイコちゃんのプレゼント』

「暑かったろう、上がりだね。いま冷たいサイダー入れてあげるから。ミッコ、エイコちゃんにたらいに冷やしてあるサイダーを持ってきてあげな」

いつも台所には、汲み上げた冷たい井戸水を金盥に満たし、サイダーや胡瓜それに真桑瓜などが冷やしてあった。

「たいそう大きな箱だねえ、いったい何が入っているの」

「ターボたちが来たたらあげようと思つて、会社からちよるまかしておいたオモチャが入っているの。もちろん傷物で売り物にはならないやつだけだね」

「そうかい、お前は死んだお母さんに似て優しく賢いし、それに頭も一番良いのに……。お父ちゃんがもう少ししっかりしていてくれれば、高校にだって上がられたのに……。すまないねえ」

伯母は、自分の責任でもあるように詫びるような表情を浮かべて悲しそうに話した。

「おカアちゃん、心配してくれてありがとう。でも、大丈夫。わたしは、元氣だから心配要らないよ」

エイコちゃんは、自分の恵まれない境遇を振り払うように、わざと大きな声で言った。

次号に続

あとがき

先週の土日、慣例の「温泉卓球 in やみぞ」に参加させていただきました。新旧 104 人の仲間と共に、笑いあり悔しさありのゲームも、りんごが浮かぶ温泉入浴もそして湯上りの懇親会もすべてが楽しい思い出になりました。尊敬する若草クラブの大林さんと組んだ団体戦は、全戦全敗でしたが強敵を相手にすばらしい試合の連続で、爽やかな気持ちになることが出来ました。大林さん、ありがとう！！また、組みましょう。